

課題名

40. びわ果実腐敗病害発生量の年次変動について

成果の要約

多発生年は収穫前5日間の降雨量、降雨日数が多い。

成

1. 果実腐敗病害は灰斑病と炭そ病が主体で、特に1976年、1981年、1982年および1984年に発生が多かった。
2. 多発生年は収穫前5日間の降雨量、降雨日数が多い傾向にあった。

第1表 びわ収穫時における10年間の各種果実腐敗病害の発生と収穫前5日間の降雨量

概  
要

年 次	各種病害の発病果率				収穫月日	収穫5日前からの	
	灰斑病	炭そ病	疫 病	灰色かび病		降雨量	降雨日数
(%)				(mm)		(日)	
1976	4.8	5.1	4.2	0.9	6月7日	58.7	5
1977	2.5	3.0	0	0	6月5日	31.4	2
1978	0	0.5	0	0	6月5日	11.8	1
1979	0.3	0	0	0	6月5日	0	0
1980	0	1.7	0	0	6月9日	1.5	1
1981	2.4	3.6	1.2	0.8	6月13日	50.0	4
1982	2.0	2.7	0	0	6月7日	16.0	3
1983	0	0.9	0	0	6月7日	0.5	1
1984	6.2	8.4	2.4	1.1	6月20日	63.0	4
1985	0	2.4	0	0	6月5日	0	0

(昭60長崎果試)

普及上の留意点

炭そ病の防除法は今後の開発に待つ。